



東洋大学工学部 機械工学科同窓会会報

第3号
平成19年
6月30日発行

∞ 手をつなごう ∞

機械工学科同窓会会長 太田和彦 (1期卒)

人事の改選時期を迎えた昨年の幹事会で、長いこと会長職に留まることはマンネリ化に繋がる恐れがあり、若い人へバトンタッチすることを提案しましたが、幹事の皆さんからの強い要望で昨年11月に開催された同窓会総会で引き続き同窓会の会長を引き受けることになりました。

また、最善を尽くしてまいりたいと思いますのでご指導ご鞭撻そしてご協力のほど宜しくお願いいたします。

東洋大学のOBの繋がりは他の大学に比べて希薄といわれております。その原因は色々あるかと思いますが、OB同士が手をつなぎその輪が広がれば、少しは改善していくのではないのでしょうか。OB間の繋がり
の機会を作る活動を今後も続けて生きたいと思えます。

そのための主な活動は下記のようなことを考えております。

1)機械工学科同窓会会報の継続的な発行と発行回数の増加

会報の中身の充実と発行回数の増加対策として、会報発行専門のグループを設置し、会報の増頁とカラー化も目指す。

2)同期会開催への呼びかけとその援助

団塊の世代が定年を迎えるにあたり、還暦をかねた同期会や、卒業後5年目、10年目、15年目……等の節目を迎えた世代への同期会等の開催を積極的に呼びかけるとともに費用の一部を援助する。

3)工学部育成会活動へのサポート

育成会活動へのサポートを通じてのOBと在学生の繋がりを強化し同窓会、育成会への加入率のアップに結びつける。

4)機械工学科同窓会独自のOBや在校生への活動

イベントや表彰など

5)会費納入キャンペーン

OBには会費を払っているのか否かが不明な人が多い。各年度の幹事を中心とした積極的な情報発信で会費納入キャンペーンを実施する。

なお、新体制の役員は全員継続で下記の通りです。

会長	太田 和彦	(1期卒)	総務	小林 康男	(3期卒)
副会長	久住 宏	(4期卒)	監査	田口 正和	(8期卒)
副会長	神田 雄一	(5期卒)	監査	石井 正明	(8期卒)
総務	清澤 文彌太	(1期卒)			

【工学部の近況】平成19年度より機械工学科吉田教授が工学部長に就任され、同窓会に寄稿をいただきました。

工学部の現状と今後の改革

近年の入学試験における志願者の減少、学生満足度の低迷、原級率・退学率の増加、など、少子化と共に若者の理系離れは全国的な傾向とはいえ、現在東洋大学工学部が危機を迎えていることは明らかです。このような危機においては、的確かつ迅速な対応が必要であります。そして、このような時に的確な対応を打ってゆく上で拠り所となるのは、「初心に帰れ」ということであると考えています。

すなわち、東洋大学及び工学部の開学の理念に帰ることです。卒業生の皆さまはもちろんご存知のように、東洋大学の理念は「諸学の基礎は哲学にあり」であり、工学分野においては「ユビキタス時代における21世紀の新哲学構築」と置き換えました。工学部の設置の理念は「産学協同」であります。東洋大学工学部はこの二つの理念を根底として改革を進め、社会に問うてゆく必要があると考えるものです。

工学部が設置された当時は、東洋大学が存立の危機に直面しているときでありました。当時としては画期的な基本理念である「産学協同」の旗のもと、この建設計画に共鳴した天下一流の立派な教授が集まり、また財界人も強く意義を感じ、力を合わせて資金集めと文部省への働きかけを行った結果、46年前に開設されたと聞いています。

そこでいま眼前の危機に対し、「守りの改革ではなく、攻めの改革を進める必要がある」を旗印に改革案を作成しつつあります。まず、高校生の現状と大学卒業生の将来というデマンドサイドの現状を分析し、両者の間に挟まれた工学部教育のミッションを検討しました。これらの結果から、「理科好きな受験生を受け入れて、グローバル時代のものづくり人材(スペシャリスト)を育成する」と「文系・理系を問わず、情報を多様な場面で有効に活用できる融合型の人材を育成する」というミッションを新たに設定いたしました。

次に、ミッションに基づくはっきりした数値目標を挙げ、期限を設けて、後戻りせずに攻めの改革を進めることにしました。その短期的な目標とは、喫緊の要請である、受験生を増やす、学生満足度を上げる、競争的外部資金の獲得を増やす、であります。

また、長期目標は「OB/OGの強大な支持層を作る」ことです。最終的な目標として、東洋大学へのOB等の寄付者を増やすことは、大学のミッションを成就させ、存在意義を示すためには欠かせません。特に、卒業生が社会で成功を収めることは教育・研究の質の高さに関係し、卒業生からの寄付金はその指標とも言えます。そこで、OBへの支援も高め、OBからの支援を大幅アップさせる姿を考えています。このためにも昨年度設立された工学部各学科同窓会の連合体である「工学部連合育成会」に期待しているところです。

今後は教職員だけではなく関係者全員の視点を長期目標に合わせる必要があります。そのためにも、機械工学科同窓会の多大なる支援とご理解を得て、日本の大学教育・大学研究を先導する学部を造る、という大いなる望みのもとに改革を進め、目標達成、その後の評価・改善を行っていきたく願っております。機械工学科同窓会の益々の発展を祈念しています。

吉田善一工学部長略歴 1957年生1982年筑波大学 基礎工学類 物理工学科 卒業

松下電器産業 山梨大学工学部助教授を経て2000年から東洋大学工学部教授
2007年から現職



工学部長 吉田善一

【大学の近況】平成18年度卒業式が行われました。

平成18年度卒業式

平成18年度卒業式が平成19年3月23日に挙行されました。例年通り午前10時より北の丸公園の武道館で東洋大学全体の卒業式が行われ、全学で5,803名 工学部861名 機械工学科152名に卒業証書が授与されました。また、大学院は工学研究科131名 機能システム専攻53名の修士が誕生しました。

午後には、工学部卒業生は川越キャンパスに集合し、学科別に卒業証書授与式が行われました。機械工学科では、研究室毎に指導の先生から直接証書を手渡され、卒業を実感した学生が多かったようです。

その後、優秀賞の発表があり、日本機械学会畠山賞に細渕智子さん 校友会奨励賞に荻野貴司君 日本設計工学会優秀賞に柿崎健太君に授与された後、今年度より創設された工学部育成会の優秀賞が藁谷尚君に機械工学科同窓会の太田会長から授与されました。



【大学の近況】学校法人東洋大学の理事長が交代しました。

新理事長に塚本正進氏が就任

このたび理事長に就任いたしました塚本 正進(つかもと まさのぶ)でございます。

東洋大学の前身は明治20年(1887年)に井上円了博士により開設された哲学館であります。哲学館は当時大学で高等教育を受けることが出来なかった人々に対し、哲学をはじめ人文、社会、自然分野の諸科学を学修する機会を与え、物事の本質を探究し理解する能力を育成するために設置されたものであります。

この創立者井上円了の建学の精神は本法人の設置した学校、教育施設において現代に至るまで引き継がれ、今までにこの精神のもとで教育を受けた卒業生は、優に20万人を超えております。

私は、法人全体の更なる発展のために時代の要請に適応する教育研究活動の内容を充実させ、さらに教職員全員が連携・融合し、総合力を発揮して卒業生、ご父母他関係各位のご協力を得ながら、学生、生徒の皆さんにとってより一層魅力的な学校となるよう全力で取り組む所存です。(東洋大学HPより転載)

京三電機工業株式会社

当社は昭和24年、自動車部品事業に参入するため、株式会社京三製作所から分離独立し、2年後の平成21年に創立60周年を迎えようとしています。昭和43年には(株)デンソーと業務提携し、トヨタ・デンソーグループ企業の一員としてグローバル化の一躍を担っています。

当社は創立以来、燃料ポンプや燃料フィルタに始まり、近年はEFI関連製品など自動車用エンジンの重要な機能部品を他社に先駆けて製品化し、燃料系機能部品の専門メーカーとして、自動車業界はもとより、農機・建産機業界に至るまで多くのお客様から厚い信頼をいただいております。

当社は茨城県古河市に本社・第1工場、第2工場、結城市に結城工場、愛知県安城市に営業所があり、北米(KDMK)とタイ(SKD)に海外拠点があります。総グループ人員は約2,400名で、総売上は年間665億円です。また、更なる成長のため、「京三ビジョン2015」(事業規模・業績目標)として、「kyosan111(トリプル1)計画」(①連結売上:1,000億円、②連結利益:100億円、③付加価値生産性:100万円/人・月)を掲げ、すべての社員が想いを共有し、高い目標に全力で挑戦しています。

機械工学科の卒業生は、昭和53年に1名入社して以来、ほぼ毎年のように入社しています。

今年平成19年に新卒者2名を加えたことにより、現在21名が在籍しており、文系・理系を含めると32名となり、多くの東洋大卒者が海外拠点を含め、各部署で活躍しています。

今回、大学在籍中を含め、お世話になっている清澤先生が勇退されるとの話を聞き、卒業生一同で囲む会を開くことになりました。これだけ卒業生が在籍していながら、皆で集まるのは初めてであり、当日は昔(青春時代)を懐かしむのと同時に、相互間の親睦を深めることができました。これを機にこれからも続けて行きたいと思えます。仕事に積極的に挑戦して行く、明るく元気な方を採用しますので、現役の学生諸君や卒業生の子弟を宜しくお願い致します。

URL:<http://www.Kyosan-denki.co.jp>

技術1部 部長

荒井 勝美 (昭和54年卒)



二期生、卒業後初の同期会に集う！

機械工学科二期生はほとんどの人が昭和37年入学、41年卒業であり、今年が卒業後41年目を迎える。その面々が風薫る5月19日(土)、初めての同期会ということで東京・竹橋のKKR HOTEL TOKYOに参集した。本来なら、卒業40周年という節目の年である昨年開催するのがよかったのだが、何しろ卒業後初めてということもあり、準備やムード作りに時間がかかることを予想して一年延ばしにした結果である。

当日は上原先生、坂東先生、清澤先生の3名の来賓の先生のご出席もお願いし、同期生28名が出席するというまずまずの第一回同期会となった。同期生は合計132名であったが、既に亡くなった方が10名おり、元気な方122名の約1/4が出席したことになり、今後この会が発展していく期待と手応えを感じた。

会は午後1時から4時まで約3時間を予定していたが、41年間の想いを3時間で語り合うことは無理なこと、出席者全員の近況報告をはじめ、今後の同期会の運営や同期会の名称などについての相談ごとにかなり時間を取られたため、相互の歓談の時間がほとんどないという忙しさであった。

二期生は創学間もない川越のキャンパスに、それぞれ何らかの気概を持ちながら学んだ集団であったと自負できると思うが、卒業後も東洋大学・機械工学科卒業生という文字通りパイオニアとして、世の中の一隅を照らしてきたことが近況報告により十分理解することができた。特に60歳の半ばを迎えようとしている現在も現役で活躍している方がかなりいることは非常に心強く感じた。

同期会でのメインイベントの一つは、同期会の名称を「よんいち会」と決めたことであった。そのいわれは、昭和「41」年卒業、卒業後「41」年目の初めての同期会開催、そして全員ではないが「1941」年生まれがかなりいるというトリプル「41」による。他の案に対して圧倒的多数で「よんいち会」が生まれた。

同期会は大学や同窓会があって初めて成り立つもの。昨今の大学を取り巻く厳しい環境を乗り切るために工学部同窓会連合育成会が一昨年発足したが、その発足の趣旨に則って二期生「よんいち会」も今後発展していきたいことを約して散会した。最後に永年同窓会費(5,000円)を未納の方は幹事までご一報下さい。(文責、「よんいち」会幹事、佐藤宏志)



【機械工学科教員消息】

退職

清澤文彌太教授

平成19年3月早期定年制度により退職されました。

桜井 充講師

平成19年3月早期定年制度により退職されました。

新任

森本 久雄准教授

平成19年4月より機械工学科に着任されました。森本先生は、本学機械工学科を1993年3月に卒業後、東洋大学大学院に進学して1998年に博士(工学)学位を取得されました。

担当する研究室の名称は「複雑流体研究室」です。

専門は ソフトマター科学 複雑流体 非線形科学と最先端の研究を行っている新進気鋭の教員です。具体的な研究内容は、コロイド粒子、カーボンナノチューブ、フラージェンや生体細胞など、ナノ・マイクロスケール材料が液体に分散した複雑流体系に着目し、その自己組織化現象、相転移や物性などに関する基礎的研究や、例えば微粒子自己組織化現象のナノテクノロジーやバイオへの利用など、工学的応用化研究を行っています。また、複雑流体のみに拘らず、パターン形成、フラクタル、カオスなど、複雑系科学の基礎的および工学的応用化研究を行っています。

平成19年度機械工学科教員役割

学科主任 大久保俊文教授

学科幹事 神田雄一教授

教務担当 物部秀二准教授

就職担当 小林康男講師 神田雄一教授

入試担当 森本久雄准教授

すでにご存知の方も多いと思いますが、文部科学省の通達により、東洋大学では平成19年度より教員の肩書きが次のように一部変更になりました。
教授→教授(そのまま)
助教授→准教授
講師→講師(文科省通達にはこの呼称はありませんが、特例によりこのまま残ります。)
助手→助教、助手

【工学部連合育成会報告】

工学部育成会が発足して1年が経ちました。活動を進めていく上でいろいろな問題が生じた1年でもありました。平成18年度の主な活動を挙げますと、

1. 連合育成会大会・特別講演会・交流会の開催

11月5日に、菅野前理事長、米山工学部長、菅沼校友会長などの出席のもとに発足記念大会が開かれた。その後、本学出身の木村太郎衆議院議員の特別講演「安全・安心は国づくり」があり、最後の交流会では、学科を越えた卒業生間の懇談で大いに盛り上がり終了した。

2. 授業科目「総合D」「総合E」への講師派遣

社会のそれぞれの分野で活動し経験豊かな卒業生が、テーマに沿った講演を行なった。在校生にとっては貴重な話が聞けて好評であった。今年度も引き続き行なう。

3. 優秀卒業研究賞および学生活動功労賞の授与

優秀卒業研究賞は、各学科から優秀な卒業研究を行なった卒業生の推薦を受けて表彰を行なった。

学生活動功労賞は学生、卒業生の活動を通して工学部の発展に寄与した3個人、2団体を表彰した。

4. ホームページの作成、運営

ホームページ(HYPERLINK "<http://www.eng.toyo.ac.jp/~rengo/>)を立上げ、各種の情報を開示した。

上記の活動の詳細もHPで見ることが出来ます。HPについては未だ未完の部分が多いので今後充実していく予定である。

連合育成会については、各学科の事情があり足並みが揃わないのが現状です。機械工学科と建築学科の同窓会の活動は順調で、全面的に育成会の活動に協力しています。今後は機械工学科からの役員の皆様の活躍により、連合育成会が卒業生及び工学部発展のために尽力できるよう、皆様のご協力をお願いいたします。

【機械工学科同窓会報告】

平成18年度の機械工学科同窓会総会が11月5日（日）12時30分から工学部2号館2階2201教室で開催されました。会長挨拶の後、議事に入り

- 1) 平成17年度活動報告
- 2) 平成18年度活動計画
同窓会会報発行について
連合育成会について
- 3) 平成17年度決算及び平成18年度予算（案）
- 4) 役員改選（任期満了につき）
- 5) その他

会計報告に関する資料は8ページをご覧ください。役員の改選につきましては、太田会長の巻頭の文にもありますように全員留任となり、

会長：太田和彦（1期） 副会長：久住 宏（4期） 神田雄一（5期）

総務：清澤文彌太（1期） 小林康男（3期） 監査：田口正和（8期） 石井正明（8期）

の皆さんにお引き受けをお願いし、総会で承認されました。



左から石井監事、田口監事、久住副会長、太田会長、神田副会長、清澤総務、小林総務

この会報は、同期会開催のお知らせや、同期会の様子、卒業生や、教職員の消息などを卒業生の皆さんにお伝えするページがあります。卒業生の皆さんにお知らせしたいことがありましたら、原稿を下記の連絡先までお送り下さい。この会報は、原則として終身会費を納めた卒業生にお送りしています。

会費が未納の方で会報を受け取った方は、終身会費5,000円を下記の郵便振替口座にて納入をお願いいたします。

郵便振替口座 00150-2-752854
東洋大学工学部機械工学科同窓会

連絡先変更のお知らせ

工学部連合育成会が発足し事務局が出来ましたので、機械工学科同窓会の連絡先は、従来の機械工学科教務室から工学部連合育成会に変更いたしました。

東洋大学工学部連合育成会内 機械工学科同窓会

電話・FAX:049-239-1679 E-mail:ikuseikai@eng.toyo.ac.jp

平成 17 年度決算報告
(H17 年 11 月 1 日～H18 年 10 月 31 日)

平成 18 年度予算案
(H18 年 11 月 1 日～H19 年 10 月 31 日)

	項目	H17 年度 予算	H17 年度 決算	備考
収入	前年度繰越金	5,619,759	5,619,759	
	終身会費	250,000	355,000	新卒 61 名、既卒 10 名分
	預貯金利息	0	253	
	その他収入	0	0	
	合計	5,869,759	5,975,012	

	項目	H18 年度 予算	備考
	前年度繰越金	5,734,562	
	終身会費	350,000	5,000 円 × 70 人分
	預貯金利息	0	
	その他収入	0	
	合計	6,084,562	

	項目	H17 年度 予算	H17 年度 決算	備考
支出	会報代	340,000	157,500	発行部数 5,200 部
	通信費	20,000	5,000	幹事会通知等
	同期会育成費	100,000	0	
	会議費	100,000	48,050	
	交通費	50,000	14,780	
	事務局維持費	120,000	0	
	慶弔費	50,000	0	
	懇親会費	100,000	0	連合育成会の懇親会用
	雑費	20,000	15,120	
	次期繰越金	4,969,759	5,734,562	
	合計	5,869,759	5,975,012	

	項目	H18 年度 予算	備考
	会報編集印刷代	300,000	発行部数 3,500 部
	会報発送費	560,000	80 円 × 3,500 部 × 2
	通信費	20,000	
	同期会育成費	100,000	20,000 円 × 5 期分
	会議費	100,000	20,000 円 × 5 回分
	交通費	50,000	
	事務局維持費	120,000	アルバイト代他
	慶弔費	50,000	
	懇親会費	100,000	連合育成会の懇親会用
	雑費	20,000	
	次期繰越金	4,664,562	
	合計	6,084,562	

【編集後記】

総会で会報を年 2 回発行することが決まり、少し遅くなりましたが第 3 号をお届けします。原稿がなかなか集まらなくて苦勞をしました。皆さん機械工学科卒業生に伝えるニュースがありましたら是非お知らせください。

ところで、個人的なこととなりますが、この同窓会報の編集を受け持っています私(清澤)が本年 3 月をもって東洋大学を退職しました。定年まで 5 年もありましたが、体力のある内に長期の海外旅行など今までに出来なかった事をしようと、機械工学科の先生にはご迷惑をおかけしましたが、わがままを聞いて頂きリタイヤをしました。思い出しますと、学部 4 年大学院 5 年教員として 36 年合計 45 年間の長きにわたり川越キャンパスに通ってきました。多数の卒業生の皆様にお世話になり、またお付き合いいただき、充実した人生を送ることが出来ました。本当にありがとうございました。今後のことにつきましては、日本機械学会が経済産業省より委託を受けた「中核人材育成事業」に東洋大学工学部が参加している仕事のお手伝いをする事になり、週に 2 日程川越キャンパスに顔を出しています。また、機械工学科同窓会や工学部連合育成会のお手伝いも続けて行くつもりですので、今後ともよろしくご協力をお願いいたします。(清澤文彌太(第 1 期卒) 記)

～同窓会連絡先～

〒350-8585 埼玉県川越市鯨井 2100
東洋大学工学部連合育成会 気付

機械工学科同窓会事務局

電話・FAX: 049-239-1679

E-mail: ikuseikai@eng.toyo.ac.jp

担当 清澤文彌太 小林康男